

日本初、ゲルマニウムを使用したホットスタジオで高級感を訴求

吉祥倶楽部

株式会社 nokaio Japan 代表取締役 森下晶夫氏



2014年9月、吉祥寺の駅近くにオープンした吉祥倶楽部。ホットヨガを主体に、コンディショニングとヒーリングに力を入れる、新しいタイプのフィットネス施設だ。徹底した癒し感と、洗練された雰囲気、開設して間もないながら、早くも多くの支持を集めている。

受け身の心地よさを提供 キーワードは「やさしさ」

吉祥寺といえば、常に「住みたい町ランキング」で上位につける人気の街。駅前にはにぎやかな商店街が続き、センスのよいショップや飲食店が軒を連ねる。その一方、少し駅から離れれば昔ながらの閑静な街並が続き、自然豊かな井の頭公園もある。

2014年、その吉祥寺にオープンしたのが、吉祥倶楽部だ。洗練された内装、ゆったりしたスペース。若者に人気の生活雑貨チェーン「ロフト」の7階にありながら、駅前のにぎやかさとまったく無縁の世界が広がっている。

月会費は13,000円。ロッカールームに併設されたヒマラヤ岩塩房（チムジルバン）を使用するには別途500円の費用がかかるが、会費にはタオルセットやホットヨガ用のタオルも含まれている。それでも、近隣の競合店に比べたら若干高めの設定である。都心ではなく、吉祥寺のような郊外にこう

した店舗をつくった意義とは、どのようなものか。

「吉祥寺はいにしえのものと、新しい感性が融合した街。古くから続く文化や伝統が息づく一方、百貨店や都市機能など、最新のものも多く存在しています。それらが混ざり合っているのが吉祥寺の魅力であり、同時に、私たちが考えるフィットネスクラブのコンセプトとしても相応しいのでは、と思ったのです」

総合プロデュースと運営管理サポートを行う株式会社nokaio Japan 森下晶夫さんはそう話す。最新の設備を用意し、快適な環境を整えるだけではない。長年の歴史に裏打ちされた、正統派のプログラムや機能的なトレーニングを提供することで、会員が健やかな生活を手に入れることの役に立つ。そうした意味で、吉祥寺への出店を決めた。

現在、会員の平均年齢は55歳と、ジムスタジオ型モデルとしては圧倒的に高い。木の温もりを活かした空間では、細部に至るまで光、音、香りなどを大事に演出。特に、ホットヨガのスタジオには強いこだわりを發揮している。

「床材と壁にゲルマニウムを使用。ゲルマニウムは接触面が32度以上になると、遠赤外線が発生して、マイナスイオンを出すといわれています。遠赤外線効果で身体が芯から温まるだけでなく、マイナスイオンによって精神的にも安定し、リラックス状態になることも期待できるのです」

ゲルマニウムは希少なレアメタルであるため、設備費は高額だ。だが、あえて、日本初となるゲルマニウムのスタジオを備えることで、他店舗との差別化や会員のステイタス感につながっていく。

また、インストラクターの質にもこ

だわり、レッスンの内容や指導力はもちろん、接客の態度や人柄など、個々のパーソナリティも選抜の材料として意識。現在では、約20倍の難関を突破したインストラクターが多数、活躍している。

「展開しているプログラムは、身体に負担をかけず、ゆったりリラックスしていただくものが中心。なにもせずとも、受け身のまま心地よい時間を過ごすことができる。そうしたやさしさを大事にしています」

「やさしい」という言葉は、この吉祥倶楽部のキーワード。スタジオはこのゲルマニウムホットスタジオのほか、カラー照明が心と身体に作用する常温のヒーリングスタジオがあるが、いずれも行うプログラムはノンシューズ主体のもの。また、ジムエリアではストレッチマシンや音波振動マシンなど、普段着でも簡単に行うことができ、しかも効果が期待できるものを用意。さらに、ヒーリングスペースとしてヒマラヤの岩塩と黄土を使用した低温サウナ、チムジルバンを設置。息苦しい感じや肌のピリピリ感がなく、くつろぎながら無理なく汗をかくことができる。

「会員は最大収容人数の6割までとし、それを越えたら一切募集は行いません。クラスでは整理券を配布したり、予約を受け付けたりすることもなく、いつでも、ゆったりと楽しんでいただくことを大事にしています」

そのほか、nokaio Japanがプロデュースするフラとヨガを融合させたヒーリングメソッド『アロハフロー』や、クリスタルボウルから奏でた音色が深いリラクゼーションへ誘う、『クリスタルヒーリング』のプログラムも日本初導入。心と身体に対するやさしさは、空間からプログラムまで一貫している。

